

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：メタノール

製品名：ライト・ギムザ染色液（AS）

製品コード：08096536

会社名：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

住所：〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14

電話番号：03-3537-3939

作成日：2008/10/01

改定番号：2.0

2. 危険有害性の要約

絵表示
又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害のおそれ（経口）
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
眠気及びめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害

注意書き

安全対策 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
—禁煙。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

- 救急処置** 火災の場合には適切な消火方法をとること。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚（又は毛髪）に付着した場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 保管** 容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
- 廃棄** 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名：

CAS 登録番号 /EINECS 登録番号	化学名 化学式	量	EU 分類 (67/548/EEC):
67-56-1 / 200-659-6	メタノール CH ₄ O	>99%	F, T, R11, R23/24/25, R39/23/24/25

EU 分類の追加情報はセクション 16 を参照

ヒト：可燃性液体 この製品を飲み込んだ場合、吸入した場合または皮膚から吸収した場合、有害である。

環境：関連情報なし

EU 分類 (1999/45/EC)：F - 高い引火性 T - 有毒

EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ：

R11, R23/24/25, R39/23/24/25, S7, S16, S24, S36/37, S45

4. 応急措置

緊急応急処置：直ちに医師に電話する。最も近い ER（救急救命室）への移送を手配する。

医師を待つ間、または ER へ移送中：

吸入した場合：問題が起きた場合、患者を新鮮な空気のところへ移動する。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。呼吸が困難な場合、酸素吸入を行う。治療のため病院へ移送する。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服をすべて脱がす。石鹼と水で洗い落とす。治療のため病院へ移送する。再使用の前に汚染した衣服を洗う。

目に入った場合：目に接触した場合、少なくとも 15-20 分間目を多量の水で洗い流す。まぶたの下も含め十分な水で徹底的に洗う。治療のため病院へ移送する。

飲み込んだ場合：患者が応答する場合には、直ちに催吐剤または大きじ 1 杯の塩をコップ 1 杯のぬるま湯に溶かした溶液を飲ませておう吐させる。直ちに医療機関の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：水スプレー、アルコール泡、炭酸ガスまたは粉末消火剤を使用する。

消火の際の特別処置：自給式呼吸器および防護服を着用し、眼および皮膚への接触を防ぐ。火災が消火した後も十分な時間火災にさらされた容器を水で冷却する。

異常な火災および爆発危険：非常に引火性が高い液体蒸気は空気より重く表面に沿って火源に到達し、フラッシュバックする可能性がある。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項：すべての着火源を除き、換気する。

回収、中和：吸収剤により集め適切な容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：引火性で毒性の液体として取り扱う。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服への接触を避ける。過度の熱およびすべての着火源から離しておく。

保管：製品ラベル (添付文書) に記載の温度および条件で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

化学名	暴露限界値
メタノール	200 ppm PEL-TWA 200 ppm TLV-TWA 皮膚 250 ppm TLV-STEL

呼吸器の保護具：空気中の浮遊濃度が TLV を超える場合には、呼吸の保護が必要である。TLV を超え 1000 ppm までの濃度には、NIOSH により承認された有機蒸気カートリッジ呼吸装置を使用する。

手の保護具：実験用ネオプレンまたは厚手のブチルゴム手袋を推奨する。

目の保護具：標準実験用安全眼鏡を推奨する。実験室ではコンタクトレンズを使用しないほうがよい。

皮膚及び身体の保護具：実験用ネオプレン前掛けを推奨する。

換気：TLV を十分満足するように部屋の換気を行うか、ドラフトの中で使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外 観：暗青色の液体

臭：い：アルコール臭

pH：H：N/D

融点・凝固点：N/A

沸点、初留点及び沸騰範囲：149°F

引火点：52°F

蒸気圧：92 mm Hg

比重：0.7914

溶解度：完全

蒸発速度：4.6（酢酸ブチル＝1）

燃焼範囲：LEL: 6%

N/A = 適用なし N/D = 測定されていない

10. 安定性及び反応性

安全性：安定

危険有害反応可能性：起きない。

避けるべき条件：過度の熱およびすべての着火源から離しておく。

混触危険物質：酸化剤との配合禁忌

危険有害な分解生成物：燃焼により一酸化炭素と炭酸ガスが生成する。

11. 有害性情報

急性毒性：急性毒性値－メタノール: LD50 経口 ラット: 5,628 mg/kg; LC50 吸入 ラット: 64,000 ppm/4 hr

皮膚腐食性・刺激性：接触は刺激を引き起こすことがある。液体は皮膚を通して吸収されることがあり、摂取した場合と類似の作用を引き起こす可能性がある。直ちに治療する。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：液体は刺激を引き起こす。吸収により視神経の障害および一過性または永久的な失明を引き起こすことがある。

発がん性：発がん物質またはその疑いがあるとして記載されている成分はない。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露：長期のメタノールへの過度の暴露により、視覚、神経系、肝臓および腎臓が障害を受けることがある。メタノールは動物実験において生殖機能に有害な影響を与えることが確認されている。

吸引性呼吸器有害性：蒸気の吸入は、吐き気、頭痛、めまいおよび他の知覚麻痺の症状を引き起こす可能性がある。長期にわたる過度の暴露は、一過性または永久的な失明ならびに肝臓および腎臓障害を引き起こすことがある。

暴露による健康状態の悪化：肝臓および腎臓に障害のある人は暴露のリスクが高いことがある。

摂取：摂取により胃腸の刺激、神経系の抑制、頭痛、むかつきおよびこん睡を引き起こすことがある。腹部、背中、および下肢の強い痛み、一過性または永久的な失明、肝臓および腎臓障害が起きることがある。致命的となることがある。

12. 環境影響情報

生態毒性：この混合物の生態への影響は確認されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄のために推奨する方法：

1 次容器のタイプ：製品容器は高密度ポリエチレンである。

廃棄物処理方法：廃棄施設において、都道府県や国の環境規制に従う適切な廃棄方法を決めなければならない。

14. 輸送上の注意

国連番号：1230

品名：メタノール

危険物分類および容器等級：3, II

ラベル：引火性液体 有毒

梱包指示 (旅客航空機)：IATA 305

梱包指示 (貨物航空機)：IATA 307

15. 適用法令



化学物質排出把握管理促進法	該当せず
労働安全衛生法〔名称等表示〕	表示対象物質
労働安全衛生法〔名称等表示〕	名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法〔特化物等〕	第2種有機溶剤
毒物及び劇物取締法	該当せず
消防法〔危険物〕	危険物第4類
大気汚染防止法	特定物質
大気汚染防止法	有害大気汚染物質
家庭用品規制法	規制物質
海洋汚染防止法	D類物質等
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体

SARA 311/312:SARA の危険有害性区分セクション 311/312 報告：急性健康 慢性健康
火災の危険

SARA 313 この製品は **SARA セクション 313 (40 CFR 372)** により年間放出量の報告が必要である下記の化学物質を含んでいる：メタノール >99%

カナダ **WHMIS** 分類：医療機器は **WHMIS** から免除されている。

EU 分類 (1999/45/EC) :

	F - 高い引火性		T - 有毒
---	-----------	---	--------

EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ：

R11 - 高い引火性

R23/24/25 - また吸入、皮膚接触および飲み込んだ場合有毒

R39/23/24/25 - 有毒: 吸入、皮膚接触および飲み込んだ場合きわめて重篤で回復不可能な影響の危険がある。

S 7 - 容器はきつく閉めておく。





S16 - 着火源から離しておく - 禁煙。

S24 - 皮膚への接触を避ける。

S36/37 - 適切な保護衣と手袋を着用する。

S45 - 事故または気分が悪くなった場合、直ちに医療機関の指示を求める (可能であればラベルおよび添付文書を見せる)。

16. その他の情報

HMIS の危険有害等級		
	<U:20581><U:24247>:	3
	<U:28779><U:28797>:	3
	<U:21453><U:24540><U:24615>:	1
	<U:20491><U:20154><U:20445><U:-29833>:	H

4 極めて危険。n3 非常に危険。n2 中等度危険。n1 軽度危険。n0 最低度危険。n*アスタリスクは重大かつ慢性的な健康への影響を示す

参考のためのリスクフレーズ (セクション 2 および 3 参照) :

F - 高い引火性 T - 有毒

R11 - 高い引火性

R23/25 - 吸入、皮膚接触および飲み込んだ場合有毒

R39/23/24/25 - 有毒: 吸入、皮膚接触および飲み込んだ場合きわめて重篤で回復不可能な影響の危険がある。

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。